

令和4年度

入学試験 国語問題

注

- 解答はすべて解答用紙に記入すること。
- 問題用紙は持ち出さないこと。
- 字数制限のあるものは、原則として句読点、記号も一字に数えます（指示のあるものは除く）。

【一】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

一六三八年に出版された『新科学対話』の中で、ガリレオ・ガリレイは動物の大きさには限界があることを指摘している。

a、動物のサイズが三倍大きくなると、体重はその三乗の二十七倍にもなるが、その重さを支える骨格の面^Aセキは二乗の九倍にしかない。そのため、同じ材質ならより太い骨格にしなければならず、柔軟に動くのが困難になり、倒れるとその重みで潰れてしまう、と考えたのだ。逆に言えば、体が小さい動物ほど強いことになる。大きさが半分になると体重は八分の一になり、骨格の太さがたとえ半分になっても体重を支える力は相対的に大きくなるからだ。これは、物体の剛性や抵抗力に関する^{*}アリストテレスの『機械学』における議論を論破するために用意した命題なのだが、私は、ガリレオの心の底には、当時流行した巨人伝説への^{*}反駁^{※はんぱく}があったのではないかと想像している。

五世紀の神学者^{*}アウグスティヌスは、著書『神の国』において、アフリカの都市ウチカの海岸で発見された^①巨大な臼歯を取り上げ、これこそノアの洪水以前の原初時代に生存していた巨人の歯である、と断じた。キリスト教的世界観では、神によって創造された原初世界の人間は巨大であり、時代が下るに従って自然の活力が失われて人間は小型化していき、やがて最後の審判を迎えることになる。世界は終末に向かって衰弱していくと考えるのだ。アウグスティヌスは、地中から掘り出された骨や歯は原初の巨人の痕跡であり、これらの遺物こそ聖書の記述の正しさを証明していると説いた。巨人伝説は、世界中の神話や伝承で語られ、^{*}ヘロドトスの歴史書に書かれ、^{*}プリニウスの『博物誌』でも言及されているが、神の奇跡の具体的証拠として持ち出したのがアウグスティヌスであったのだ。実際にはウチカの遺物は化石化したゾウの臼歯であったから、アウグスティヌスが化石を過去の地球の歴史を語る遺物としたのは正しく、神学的次元での解釈は間違っていた。以来、ヨーロッパ中世からルネサンスを経るまで巨人伝説は生き続け、^②世界の老化と結びつけて考えられるようになった。

b、ガリレオの推論[※]によれば、巨人は力学的に存在できず、人間の小型化は必ずしも世界の老化を意味しない。^③小型化するほうが、動物としてより強靱^{※きやうじん}になるからだ。ガリレオには、『新科学対話』で巨人伝説を否定することで、キリスト教的

世界観を打ち破る魂胆こんたんがあつたのではないだろうか。なにしろ、宗教裁判で修道院に監禁されていた中で書いたものなのだから。では、巨人のものとされる骨や歯の化石はいつたい何なのだろうか。さらに言えば、山上で発見される貝殻や魚の化石を、ノアの洪水で海から運ばれたものとする神学的解釈も疑わしくなる（すでに、^{*}レオナルド・ダ・ヴィンチはこの解釈を批判していた）。こうして、化石を通じて過去の生物進化を研究する古生物学が科学の装いを取り始めたのである。

過去に大いに繁栄して地上をのし歩いていたのに今や絶滅してしまった動物で、人々の興味が強くそえられるのは恐竜とマンモスだろう。（1）その理由は、現在の地上では見られない体の巨大さにあり（小型のものもいたのだが、私たちはつい大型動物に目を奪われてしまう）、全く異次元の動物のような気になるためかもしれない。言うまでもないことだが、恐竜は六千五百万年前に絶滅した動物で人類と一切接触はなかったが、マンモスは一万年前までは生息しており、^{*}ホモ・サピエンス^④といっしょに空気を吸った哺乳類（ゾウの一族）である。日本で発見されているナウマン・ゾウは、マンモスよりは暖かい気^Bコウを好むゾウの一種であつたようだ。（2）

ここでは、マンモスの化石研究の歴史を振り返つてみたい。マンモスが科学と文化の歴史を映し出す鏡の役割を果たしてきたからだ。c、マンモスの化石は、巨人伝説という地球史の聖書の解釈から始まり、やがて絶滅した古代の巨大動物とする科学の対象へと大きく変貌した。Xへの見本なのである。また、ユーラシア大陸や北アメリカ大陸まで、さまざまな^{*}亜種として広がつていたことから、かつての繁栄ぶりをしのぶことができるとともに、その絶滅の謎が多くの臆測を生んできた。（3）最近では、凍結遺体が存在していることから遺伝子研究の対象となり、先行したゾウの祖先から現存するインドゾウやアフリカゾウとの類縁関係を探る結節点となつてきている。マンモスは小説や絵画や漫画などに登場することが多く、そのイメージの変遷から人々のマンモス観がどのように変わつてきたかという文化史的な興味もある。何より、旧石器時代のホモ・サピエンスと共存したことから人類史と深く関係していることや、氷河期にシベリアから北アメリカへマンモスと人類がともに凍りついた海上の道を歩んでいったことも、歴史の想像をかきたてる原因であるだろう。

マンモスの骨や牙の化石が数多く発見されるようになったのは十七世紀後半であつた。文明の波がシベリアの奥地にまで伝

わるようになって、永久凍土の下から膨大な量のマンモス（マンムトゥスと呼ばれた）の骨や牙が発見され、特に牙は高価な商品として大々的に取り引きされるようになったのだ。（4）やがてヨーロッパ大陸でもイギリスでもマンモス化石が発見されるや、トマス・ジェファソンは、アメリカにもマンモスがいたはずという固い信念（愛国心？）の下に遠征隊を組織し、首尾よくオハイオ川流域で発見することに成功したという逸話もある。

d、シベリアやアメリカの先住民は昔からマンモス化石の存在を知っており、骨や牙を道具に利用していたのだが、商売と愛国心と学術的な興味がマンモスに脚光を浴びせることになったのだ。

マンモスがいつ頃生息した動物なのかについて分かったのは、十九世紀のことであった。十九世紀前半、ネアンデルタール人やクロマニヨン人などの先史時代の化石人類が発見され、彼らの骨片や石器とともにマンモスの骨や牙も同じ遺跡から掘り出されたのだ。（5）十九世紀後半になると、旧石器時代の人間によって牙に線刻されたマンモスの全身像とシベリアの凍土からほぼ無傷で掘り出された冷凍マンモスの姿がよく似ていることから、現存するゾウに似た、しかしゾウよりはるかに巨大なマンモスが数万年前に人類と共存していたことが明らかになった。二十世紀に入るや、先史時代の洞窟芸術が数多く発見され、そこにはマンモスが描かれた壁画や線刻が多くあり、氷河時代の厳しい環境下にあつて、人類にとってマンモスは親しい存在であったというイメージがテイ着した。人類はマンモスとともに歩んできたのだ、と。漫画などでマンモスが愛らしく優しい動物であるかのように描かれるのは、このような発見の歴史に由来するのかもしれない。しかし、^⑦事実はそのようではなかった。

人類とマンモスの歴史には暗示的な類似性がある。いずれも、アフリカに起源し、ヨーロッパやアジアへと広がり、さらにシベリアから北アメリカへと渡っていったからだ。マンモスの祖先が出アフリカを果たしたのは約三百万年前であり、その頃の人類の遠い祖先はいまだ原人（ホモ・エレクトス）の時代であった。

e マンモスを追いかけるかのように、約百五十万年前に原人も出アフリカを果たした（北京原人やジャワ原人）が、やがて原人たちは絶滅し、マンモスは生き残って繁栄を謳歌した。

私たちの直接の祖先であるホモ・サピエンスがアフリカを出たのは十万年ほど前で、マンモスの棲む世界への闖入者であつ

た。新たに出現した人類は、斧や矢尻のような鋭利な石器を持ち、野獸を狩獵する技に長け獍猛であった。マンモスも狩獵の対象で、肉を食糧に、骨を屋根や壁材に、牙をソウ飾品にと、その巨体を利用し尽くしたからだ。数万年の間、ともに厳しい自然環境の中で共存はしたが、それは必ずしも友好的な関係ではなかったと言える。そして、今度はマンモスが絶滅し、人類は生き残った。マンモスと人類の歩く二つの道が交差した後、一つの道しか残らなかったのだ。

マンモス絶滅の原因としてさまざまな仮セツが出されているが、まだ分かっていない。環境に合わせて肉体が特殊化すると、ほんの少しの環境変化であつてももろくなつてしまふ。それに人間の手が加わつて一気に絶滅が進行したのかもしれない。

人類はマンモスと同じ運命をたどるのだろうか。「文明が進めば災害は大きくなる。」という寺田寅彦の言葉のように、ある種が Y が進んでいる現代文明は実にもろい状態になっている。そして、現代人は旧石器時代の人間以上に獍猛で欲張りになつてもいる。現代社会はマンモスの道を歩んでいるのかもしれない。ガリレオは巨人は自らの重みで潰れてしまふと推論したが、人類は自ら作り上げたものの重みで潰れてしまふのではないだろうか。

(池内了『ヤバんな科学』より)

※ ガリレオ・ガリレイ：イタリアの物理学者・天文学者・哲学者。

アリストテレス：古代ギリシャの哲学者。

反駁：他人の意見や批判に反対して論じ返すこと。

神学者：キリスト教の神と神事に関する学問の研究者。

アウグステイヌス：初期キリスト教会の神学者・哲学者。

ウチカ：現在のチュニジアにあつた古代都市。

ヘロドトス：古代ギリシャの歴史家。

プリニウス：古代ローマの博物学者・政治家。

ルネサンス：十四世紀～十六世紀にイタリアを中心に西欧でおこった、古典文化を手本とする文化革新運動。

レオナルド・ダ・ヴィンチ：イタリアのルネサンス期を代表する芸術家・科学者。

ホモ・サピエンス：地球上に現存する人類、および同一種の化石人類の学名。

亜種：生物分類学上の種の下段階の単位。

結節点：つなぎ合わされた部分。

トマス・ジェファソン：第三代アメリカ合衆国大統領。

闖入者：突然入ってきた者。

寺田寅彦：物理学者・随筆家。

問一 傍線部A～Eのカタカナを漢字で表記したとき、同じ漢字を使うものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

A 面セキ

ア セキ任をとる。
イ 問題が山セキする。
ウ 成セキがあがる。
エ 情報を分セキする。

B 気コウ

ア 委員長に立コウ補する。
イ コウ意を持つ。
ウ コウ撃力のあるチーム。
エ 健コウに注意する。

C テイ着

ア テイ寧な言葉づかい。
イ 駅にテイ車する。
ウ 予テイを確認する。
エ 校テイに集まる。

D ソウ飾

ア 先生にソウ談する。
イ 壁を塗ソウする。
ウ 雑ソウを抜く。
エ 物資を輸ソウする。

E 仮セツ

ア セツ備が整っている。
イ 親セツな人。
ウ 寒い季セツになる。
エ セツ明を受ける。

問二 に入る適当な語を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。(同じ記号は二度以上使用しないこと。)

- ア まず イ 例えば ウ あたかも エ しかし オ むろん カ なぜなら

問三 次の一文は本文中の〈1〉〈5〉のどの箇所に入れるのが適当ですか。数字で答えなさい。

どうやら、マンモスと人類の先祖が共存していたようなのである。

問四 傍線部①「巨大な臼歯」は実際には何でしたか。本文中から十字で抜き出して答えなさい。

問五 傍線部②「世界の老化」とはどのようなことですか。解答欄に合うように本文中から十六字で抜き出して答えなさい。

問六 傍線部③「小型化するほうが、動物としてより強靱になる」理由が述べられている一文を本文中から探し、その最初の五字を抜き出して答えなさい。

問七 傍線部④「いっしょに空気を吸った」と同じ意味で使われている二字の熟語を本文中から抜き出して答えなさい。

問八 に入る語句として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 巨人からマンモス イ 巨大化から小型化 ウ 宗教から科学 エ 古生物学から文化の歴史
オ シベリアから北アメリカ

問九 傍線部⑤「高価な」の品詞名を漢字で答えなさい。またこれとは異なる品詞の語を二重傍線部ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

問十 傍線部⑥「首尾よく」の意味として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 最後まで努力するさま。 イ 予想外なことが起こるさま。 ウ 確認してから実行するさま。
エ すぐに有名になるさま。 オ 物事が都合よく運ぶさま。

問十一 傍線部⑦「事実」の内容として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 人類にとってマンモスは狩猟の対象であり、友好的な関係ではなかった。
イ 巨大なマンモスは人類にとって食糧でしかなく、最終的に絶滅させられた。
ウ 氷河期の厳しい環境の下で、マンモスは人類と親しい存在であった。
エ アフリカを出た人類は絶滅寸前になり、マンモスと異なる場所で生きた。
オ 人類はマンモスとともに歩んだが、マンモスを恐れながら暮らしていた。

問十二

Y

に入る適当な語を本文中から三字で抜き出して答えなさい。

問十三 傍線部⑧「自ら作り上げたもの」は何ですか。本文中から二字で抜き出して答えなさい。

問十四 本文の内容と合致するものとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 恐竜とマンモスは過去に大いに繁栄して地上をのし歩いていたと考えられるが、ともに全く同じ時期に絶滅した。
- イ 人類の祖先はナウマン・ゾウやマンモスなどを引き連れて、氷河期に凍りついた海上の道を渡っていった。
- ウ 十七世紀後半にマンモスの骨や牙の化石が多数掘り出され、同時に先史時代の化石人類が同じ遺跡で発見された。
- エ 人類とマンモスはいずれもアフリカに起源し、ヨーロッパやアジアへ広がりがシベリアから北アメリカへ渡った。
- オ 化石研究などから環境に合わせて文明を発展させた人間によって、マンモスが絶滅したことがはっきりわかった。

〔次頁に問題が続きます〕

【二】 次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

今は昔、唐に莊子といふ人ありけり。家いみじう貧しくて、今日の食物絶えぬ。隣に監河侯といふ人ありけり。それがもとへ、今日食ふべき料の粟を乞ふ。

河侯が曰く、「今日ありておはせよ。千両の I を得んとす。それを奉らん。いかでかやんごとなき人に、今日参るばかりの粟をば奉らん。返す返すおのが II なるべし」といへば、莊子の曰く、「昨日道をまかりしに、跡に呼ばふ声あり。顧みれば人なし。ただ車の輪跡のくぼみたる所にたまりたる少水に、鮒一つふためく。何ぞの鮒にかあらんと思ひて、寄りて見れば、少しばかりの水に、いみじう大なる鮒あり。『何ぞの鮒ぞ』と問へば、鮒の曰く、『我は河伯神の使に、江湖へ行くなり。それが飛びそこなひて、この溝に落ち入りたるなり。喉渴き死なんとす。我を助けよと思ひて、呼びつるなり』といふ。答へて曰く、『吾今二三日ありて、江湖もとといふ所に遊しに行かんとす。そこにもて行きて放さん』といふに、魚の曰く、『更にそれ迄え待つまじ。ただ今日一提ばかりの水をもて、喉をうるへよ』といひしかば、さてなん助けし。鮒のいひし事、我が身に知りぬ。更に今日の命、物食はずは生くべからず。後の千の金更に益なし」と III いひける。それより、「後の千金」といふ事名譽せり。

（『宇治拾遺物語』より）

※ 莊子：中国の戦国時代の思想家。

奉らん：差し上げましょう。

やんごとなき：高貴な。尊い。

跡に：後ろの方で。

少水…わずかな水。

河伯神…河の神。

江湖…大河と湖。水のたつぷりある場所。

一堤…堤一杯ほどの水。「提」は酒などを入れてつぐための取っ手の付いた容器。

名譽せり…有名になった。

問一 傍線部A「食ふ」・B「おはせよ」および次の1～3の語の歴史的仮名遣いの読み方を現代仮名遣いに改めなさい。(傍

線部分をすべてひらがなで書くこと。)

- 1 もみぢ 2 ゐる 3 すゑ

問二 傍線部①「いみじう」の本文中での意味として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア わずかに イ たいそう ウ 不吉で エ 不自然に

問三 I に入る最も適当な語を本文中から一字で抜き出して答えなさい。

問四 II に入る語として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 恥 イ 損 ウ 徳 エ 功

問五 傍線部X「いへば」・Y「見れば」・Z「いひしかば」の主語を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。(同じ記号は二度以上使用しないこと。)

ア 莊子 イ 監河侯 ウ 鮒 エ 河伯神 オ 作者

問六 傍線部②「呼ばふ声あり」について、呼んだ理由を解答欄に合うように本文中から十四字で抜き出して答えなさい。

問七 傍線部③「この溝」と同じ場所を表す部分を本文中から十一字で抜き出して答えなさい。

問八 傍線部④「え待つまじ」の解釈として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 待っています イ 待たなくてもいいでしょう ウ 待たねばならないでしょう
エ 待つことができないでしょう

問九 傍線部⑤「我が身に知りぬ」は「我が身にも思い知った」という解釈ですが、その理由として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア どうしようもなく困っているときに、自分も助けてもらったことがあるから。
イ 食物がなくても数日は生きられるが、水がなければ一日も生きられないから。
ウ 自分も数日後手に入る大金より、今日食べるための少しの食物が必要だから。
エ 河伯神の怒りを買って、自分よりも貧しい生活をしている鮒に同情したから。

問十 Ⅲ に入る語として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア は イ ぞ ウ も エ まで

問十一 傍線部⑥「後の千金」は現在ではどのような意味で使われていますか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 将来大金持ちになる夢は、なかなか実現しないということ。
- イ 大量の財産があっても、その後の運命はわからないということ。
- ウ 時機の合わない助けは、大金であっても役に立たないこと。
- エ 人を助けると後で自分に大量の利益が返ってくるということ。

問十二 この作品は鎌倉時代の成立です。この作品と同じ時代に成立した作品を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 竹取物語 イ 源氏物語 ウ 枕草子 エ 徒然草 オ 奥の細道

【三】 次の問いに答えなさい。

問一 次のことわざ・慣用句の空欄に入る動物を漢字で答えなさい。またそれぞれの意味として最も適当なものを後のア～クから選び、記号で答えなさい。(同じ記号は二度以上用いないこと。)

- 1 () も木から落ちる。 2 () の尾を踏む。
3 () の耳に念仏。 4 () の手も借りたい。
ア 非常に危険な行為のこと。 イ 実際にはあり得ないこと。
ウ 言ってもききめがないこと。 エ こまかく調べること。
オ あれこれ考え悩み、ためらうこと。 カ 非常にいそがしいこと。
キ 上手な者でも失敗すること。 ク 大事なものを奪われること。

問二 次の各文の傍線部には漢字の誤りがあります。それぞれ正しい漢字に改めなさい。(傍線部分をすべて書くこと。)

- 1 以外な出来事が起こる。 2 遠足で生徒を引卒する。 3 施設を人々に解放する。
4 偶然知り合いに出会った。 5 将来の針路を考える。

問三 次の1～5の四字熟語について、それぞれ二か所の空欄には同じ漢字が入ります。その漢字一字を答えなさい。

- | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | <input type="text"/> 体 <input type="text"/> 命 | 2 | <input type="text"/> 画 <input type="text"/> 賛 | 3 | 以 <input type="text"/> 伝 <input type="text"/> |
| 4 | <input type="text"/> 頭 <input type="text"/> 尾 | 5 | <input type="text"/> 長 <input type="text"/> 短 | | |